

令和2年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第1回）議事要旨

1 日 時 令和2年7月8日（水）9：30～12：00

2 場 所 新見公立大学 本館2階 会議室A

3 出席者

(1) 評価委員会 岡崎委員長、中西委員、田中委員

(2) 公立大学 公文学長、小田副学長、奥舎事務局長、斎藤学生部長、
矢嶋学生部次長、石橋事務局次長、山本事務局参与、眞治主査、
藤原主事

(3) 事務局 小林特別参与、難波参事、羽場主任

4 議 事

(1) 令和元年度事業報告書の説明聴取等について

「令和元年度事業報告書」、「令和元年度に係る業務の実績に関する項目別実績報告書」、「令和元年度財務諸表」、「令和元年度決算報告書」の各資料に基づき、公立大学から説明を受けた。

今回の評価委員会では、令和元年度事業実績についての大学からの説明にとどめ、次回評価委員会（7月15日（水）9：30から、市役所本庁舎3階第4委員会室）にて第2期中期目標期間に係る実績についての説明を受け評価を審議することとした。詳細は、以下のとおり。

発言（○委員、◎市）要旨	回答（●大学、◎市）要旨
<p>[事業報告書について]</p> <p>2 事業の実施状況</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上</p> <p>1) 教育に関する状況</p> <p>(1) 教養教育</p> <p>②情報教育</p> <p>○文末が「～した」とあるが、この箇所だけ学生の立場からの記述だ、その他は大学の立場からの記述だが、記述方法に意図はあるか。</p> <p>(7) 公立大学法人新見公立大学の基本的な目標</p> <p>○5行目「などのより」と記述があるが間違いか</p> <p>○学生の満足度について把握をしているか。</p>	<p>[事業報告書について]</p> <p>●意図はない。修正する。</p> <p>●修正する。</p> <p>●入学時及び卒業時に満足度調査を実施</p>

<p>[項目別実績報告書について]</p> <p>I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>○看護師・保健師国家試験に関し、新卒者以外の合格状況はどうなっているか。また昨年と比べ合格実績は高まっているのか。同規模の大学と比較して合格率は高いか。</p> <p>○新型コロナの影響で予定していた授業等が消化できていないということがあるか。</p> <p>2) 教育の実施体制</p> <p>○たまがき賞とは何か。また、新見ライオンズクラブや新見ソロプチミスト協会が行っている賞との違いは何か。</p> <p>2 研究</p> <p>2) 研究の実施体制</p> <p>○研修日を週1回、100%確保するのは難しいか。</p> <p>3 学生の確保及び支援</p> <p>1) 学生の確保</p>	<p>している。学報「まんさく」の学生のコメントからも良好な状態だと感じる。</p> <p>[項目別実績報告書について]</p> <p>●既卒者は1名不合格だった。既卒者へのサポートを行っているが、当人の疾患など医学的な理由もあるため、全員合格となるのは難しい状況だ。同規模の大学と比較して合格率は高い。</p> <p>●以前から、ITに詳しい教員により遠隔授業等に利用できる機器・設備を導入・更新していた。このため、すぐに対応することができた。十分配慮し、遅れを出さないようにしている。</p> <p>●たまがき賞は、教養科目を多く受講し、優秀な成績を修めた学生に与える学内の賞で各クラス上位1～2名を表彰している。ライオンズクラブやソロプチミスト協会が行っているものは、教養科目及び専門科目を総合的に判断し、各クラスのトップを毎年表彰しているものだ。</p> <p>●忙しい状況でも時間の使い方による。教員は、教育と研究のバランスを考えることを生活習慣としてできている。</p> <p>●年度計画内容(1)について、“職員”と記述しているが“教員”に修正する。</p>
---	--

<p>○新見公立大学で何を学ぶことができるかということについてアピールを行っているか。</p>	<p>●アピールポイントは“健康科学”ということで、医学的知識がどの学科でも必要である。大学案内や Web 上に記述したり法人としてのイベント等で内外に発信したりしている。他の大学へ学生が流れることなく、本学へ学生が集まっている。</p> <p>健康保育学科では、発達障害や予防接種、こどもの発熱など、医学的知識が必要。こうしたことから、こども発達支援士の称号を出すこととしている。また、地域福祉学科も医学的知識が必要だ。</p>
<p>○新見公立大学が社会人の学びの場であることもアピールしてはどうか。</p>	<p>●第3期中期計画に、リカレント教育について記述をしている。地域共生推進センターを活用し、今後積極的に行っていく。</p>
<p>○カウンセリングを受けた学生が86名いるが、退学となるケースはあるか。</p>	<p>●医学的な理由による退学はめったにない。親に勧められて来たものの、学生がやりたいことを見つけたからという本人の進路変更による退学はある。</p>
<p>○Web 出願はどれくらい実施しているのか。</p>	<p>●100%実施している。現在は Web 出願が標準となっている。</p>
<p>○インターネット出願と Web 出願に違いはあるか</p>	<p>●表現の違いだ。同じ内容である。</p>
<p>II 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	
<p>1 地域社会への貢献</p>	
<p>○大学自体でインクルーシブ教育を行う考えはあるか。</p>	<p>●教育支援センターを中心に、教員と保育士が協議をしている。今年度から、これを充実させるための協力体制をつくっている状況だ。</p> <p>●就学前から高校までの切れ目ない発達障害への支援を行うよう計画を進めている。</p>

<p>○国際交流について何か事業を行っているか。</p> <p>○自己評定の説明及び特筆すべき事項①に“地域交流部門”と記述されているが、これは“地域連携部門”のことか。</p>	<p>●毎年豪州等での研修を行っているが、今年度はコロナのため中止した。新見市在住の外国の方と本学学生、教員が、月一回本学で交流する事業を行っている。</p> <p>●学生の海外研修について、記述していないが、去年はカンボジア研修を行った。</p> <p>●“地域連携部門”のこと。修正する。</p>
<p>III 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 人事の適正化</p> <p>○教員が18名増員されているが、まだ教員への負担はあるか。教員数は足りないか。</p> <p>○職員採用計画とは教員のみが対象のものか。事務職員も対象か。</p>	<p>●今後、地域共生推進の業務が増えていくため、もう少し人員が必要と考えている。</p> <p>●教員の採用は計画に沿って行っている。個々の教員のパフォーマンスを向上させるのが大切だ。そのために、快適に教育を行うことのできる状況をつくる必要がある。</p> <p>●第2期中期目標期間中では教員のみが対象だった。第3期中期目標期間中では事務職員のプロパーを考えており事務職も対象となっている。長期的な計画により採用を行っていく。</p>
<p>IV 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 自己収入の確保</p> <p>○公開講座は大学の収入源となっているのか。</p> <p>2 外部資金の獲得</p> <p>○公募の周知に対し応募はあるのか</p>	<p>●公開講座では若干の受講料をいただいている。（参考：1回300円）</p> <p>●ある。応募状況は研究者の評価項目となるため、研究者は公募情報を注視してい</p>

<p>V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 自己点検及び自己評価</p> <p>○自己評価者は大学内部の人以外にどのような人がいるのか。また、評価の仕組みや体制はどうなっているか。</p> <p>○自己評価力を高めることが重要だと考えるが、これに対し何か行う考えはあるか。</p> <p>VI その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 危機管理及び安全管理</p> <p>○学生への一斉メールの開封率はどれくらいか。</p> <p>[財務諸表について]</p> <p>○大学は、純資産について法人化時の資本金を維持すればよいという考え方か。純資産を増やす考えはあるか。</p>	<p>る。</p> <p>科学研究費の採択率も上昇している。</p> <p>●今年度から自己評価について、各自が自己評価し、学内委員会が絶対評価を行い、学長が最終チェックするという体制をとっている。将来的にはこの評価を賞与に反映させるということを考えている。</p> <p>●2024年までに、自己評価し、点検を行い、改善するサイクルを構築することを計画している。また、このサイクルを他大学と相互にチェックし合う体制をとることを計画している。</p> <p>●昨年の豪雨災害の際は低かったが、今年4月のコロナに際してのメールはほぼ100%だった。しかし、最近下がってきている。</p> <p>[財務諸表について]</p> <p>◎大学は純資産が大きい方が良いが、その場合市としては負担が大きくなる部分があるため、一概に大学の純資産が大きくなれば良いというのは回答し難い。</p> <p>●大学の建物は市が作り、大学に寄付するという考えが基本的にある。そして、減価償却分は市の負債となる。しかし、本学では、大学が使用する</p>
--	---

<p>[決算報告書について] 特になし。</p>	<p>建物であっても、学术交流センターのように市の所有とし、建設の際に有利な起債が活用できるようにするなど、市の負担が少なくなるよう考慮している。</p> <p>[決算報告書について] 特になし。</p>
------------------------------	--

(2) 次回開催日について

令和 2 年 7 月 1 5 日 (水) 9 : 3 0 から、市役所本庁舎 3 階 第 4 委員会室で開催する。